

羅金十盤

～進路通信2021～

太田市立宝泉中学校 第3学年 第9号 2021年7月20日(火)

夏を制する者は受験を制す

いよいよ明日から夏休みです。この夏休みは、自分の将来にも大きくかかわる重要なもの、まさしく正念場です。夏休みは授業がない分、自分の苦手な教科や分野などの弱点克服や1, 2年生の学習内容の復習に全力で取り組むことができます。暑い夏、一人勉強机に向かうのはつらいことかもしれません。しかし、その中でも頑張りきれぬ人こそ受験の合格切符を手に入れることができるのです。さあ、この夏が勝負です。2学期に良いスタートが切れるように最大限の努力をしていきましょう。以下に夏休みの学習の心得をまとめておきますので、参考にしてみてください。

受験生～夏休みの心得

◆毎日の計画作り方を大切にしていこう◆

まず計画を立てることが大切です。1日のタイムスケジュールと、夏休み全体の日程との両方を立てましょう。計画を立てるコツは、高校の体験入学、塾等の夏期講習、旅行など、あらかじめ決まっている予定をまず計画表に入れてしまうことです。残りの時間が、自分で自由に使える時間となります。この自由な時間を有効に使うことができれば、成績も着実に向上してくることでしょう。

◆1, 2年の復習が大切 復習テストをやり直そう◆

夏休みに何を勉強したらいいのか？ いちばん大切なのは、これまで習った範囲で、自分が理解できている部分と理解できていない部分とをハッキリ整理することです。その後は、自分の弱点にポイントをしばって勉強あるのみ。そのためにすすめたいことは、復習テストの有効活用です。受験では、1, 2年生の学習内容が70～80%出題されます。夏休み明けの実力テストも1, 2年生内容が中心です。つまり、受験では1, 2年生で習ったことの復習がとても重要なのです。まずは、過去のテストやワークの問題などに取り組み、自分が今どれだけできて、どこができないかを自己分析することで、現時点の自分を見つめ直してみましょ。そして、それをもとに、弱点を克服するための自分の勉強に取り組んでください。

◆1日の勉強時間 1教科40分は集中してやってみよう◆

1日最低6時間、できれば8時間くらい勉強できるとよいでしょう。6時間は多いと感じる人も多いと思いますが、学校の授業、塾、宿題と普段はそれ以上の勉強をしているはずで、決して無理な時間ではないのです。短時間集中でやりたいという人も、毎日5教科、せめて1教科で40分は学習に取り組むようにしてみましょう。それもただ机に向かう40分ではなく、集中しての40分です。2学期になってからは、学校の授業もあり、復習だけに時間を割くわけにはいかなくなります。この夏休みが力を付けるチャンスと考えて、暇があったら机に向かう癖を付けられると良いでしょう。

◆学習の成果はすぐには現れない あきらめずにコツコツと取り組もう◆

頑張ったからといって、すぐに劇的な変化があるわけではありません。夏休み明けの実力テストの結果が思わしくなく、「あれだけがんばったのに、これだけ・・・」と学習を投げ出してしまう人が多いのも事実です。しかし、学力はそう短期間で身につくものではないのです。学力は時間をかけて、少しずつ熟成されていくものです。あきらめずにコツコツと勉強することが大切です。歯を食いしばって頑張れば、いつか必ず成果が現れます。また、自分が立てた計画を実行できたという感動は一生の思い出として残ると思いますので、結果だけにとらわれることなく、やり遂げたという達成感を感じられる夏休みにしてください。